

平成25年度鬼怒川・渡良瀬川流域国有林野等所在市町村長有志協議会



【有志協議会出席者】

◎ 会員

日光市	産業環境部長	柴田	明様
宇都宮市	農村環境整備課係長	小太刀	義夫様
鹿沼市	林政課長	高村	茂様
足利市	農務課農林整備主幹	神山	和夫様
佐野市	農山村振興課長	富田	一夫様
益子町	環境課長	萩庭	正幸様

◎ 来賓

栃木県西環境森林事務所 所長 佐藤 基明様

【協議会の概要】

平成25年度鬼怒川・渡良瀬川流域国有林野等所在市町村長有志協議会を平成26年2月13日に日光森林管理署で開催しました。

協議会の開催にあたり、関東森林管理局須藤局長（右写真の中央）から「関東森林管理局としては、公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業の再生の貢献を旨として、民有林との連携に積極的に取り組むこととしており、それらを踏まえたうえで、計画や事業運営を図っていくこととしていますのでよろしくお願い致します。」との挨拶の後、日光市柴田産業環境部長（当協議会の代表世話人である斎藤日光市長の代理出席）が議長に選出され議事に入りました。



議事次第に基づき、関東森林管理局及び日光森林管理署から国有林の概要、民有林と連携した取組（森林共同施業団地、コンテナ苗、准フォレスター研修等）、国産材の安定供給を目指した取組、東日本大震災からの復旧・復興、公益的機能維持増進協定や獣害対策等の報告を行いました。

意見交換においては、出席した各市町の方々から、シカ等野生獣による造林木の剥皮被害状況や農産物への鳥獣被害の現状、また、これらの防止対策（ネットフェンス・個体数調整など）についての情報提供があり、今後とも民国が連携することが重要なことを確認しました。

また、木材の需要拡大への取組状況、公益的機能維持増進協定の検討や木質バイオマス発電等についても、意見交換を行いました。